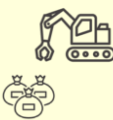
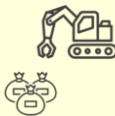


GUUNのマテリアリティ(重要課題)

マテリアリティ			弊社にとっての機会	弊社にとってのリスク	これまでの実績
環境		気候変動・地球温暖化対策	・GHG排出量の可視化 ・環境に関する取組を整理、世界基準での立ち位置を客観的に把握 ・自然保全と経営の両方に取り組む企業としての社会的価値の可視化	・厳格化するGHG排出法規制への対応コストの増加 ・投資家やサプライヤーから社会的価値の低い企業として認識され、ビジネスチャンスの喪失	・2022年8月にSBTi認証取得 ・CDP認証(中小企業版)でB-評価
		衛生的かつ健康的な生活環境の提供	・資源の循環利用による生活環境の改善	・廃棄物のポイ捨てによる洪水等の発生による道路寸断による施設の運営困難	・フィリピン・セブ工場設立によりリサイクル促進による埋立量の削減 ・イベント等での市民向けゴミ分別の啓もう活動
		自然保護・環境負荷低減	・水、森林資源の保護、過剰消費の抑制 ・カーボンオフセットへの関心の高まり	・環境対応やエネルギー価格の高騰によるコスト負担の増加 ・生物多様性への対応遅れによる、資本調達が困難になるリスクの増加	・ISO14001の取得 ・中国内蒙古自治区の砂漠地域への植林事業への参画 ・フィリピン・セブ工場での地熱発電利用
社会		適正な廃棄物処理	・適正なインフラ整備及び定期的な機械・設備のメンテナンスによる安定的な事業運営 ・リサイクルによる廃棄物の減量化	・機械故障等による廃棄物の山積及び受入停止による企業の信用低下	・木くず及び廃プラスチックのサーマルリサイクル及びマテリアルリサイクルの技術の確立 ・フィリピン・セブでのリサイクルの推進
		先駆的な新しい技術と価値の創造	・社会変化によるニーズの把握 ・廃棄物から資源やエネルギーの創出 ・公民連携によるサーキュラーエコノミーの実現	・ニーズ把握の遅延による事業参入機会の喪失及び競争力の低下	・食品残さ等が付着した汚れプラスチックのフライフuel化に向けた取組 ・使用済み紙おむつから原料及び燃料化に向けた取組 ・公民連携等による動静脈連携の取組
		ダイバシティとインクルージョンの推進	・多様な人材採用の促進による生産性向上や業務効率化 ・柔軟な働き方等によるウェルビーイングの向上	・人材不足による契約不履行や機会損失 ・コミュニケーション・多文化の理解不足によるコンプライアンス違反、ハラスメントの横行、離職率の増加	・横浜グランドスラム表彰受賞(横浜型地域貢献企業、よこはまグッドバランス企業、横浜健康経営認証、横浜市SDGs認証Y-SDGs) ・フィリピン・セブにおける現地雇用の創出
統治		ガバナンスの強化	・コーポレートガバナンスの強化による企業経営の透明性を確保 ・潜在リスクに対する社内アセスメントの検討 ・中長期的な企業価値の向上	・コーポレートガバナンス体制の不備による企業活動への悪影響 ・リスクマネジメントの遅れによる業績悪化のリスク	・産業廃棄物処分業許可の取得 ・一般廃棄物処分業許可の取得 ・優良産業廃棄物処理業者認定の取得

GUUNのマテリアリティ(重要課題)

マテリアリティ		2030年までの目標(KPI)		2050年までの目標(KGI)		関連するSDGs	
環境		気候変動・地球温暖化対策	・2020年を基準とし、Scope1及び2におけるCO2排出量42%以下に削減 ・CDPにおいて、B-評価	・CDPIにおいて、B評価 ・工場棟で使用する電力を自家発電し、CO2排出量の削減			
		衛生的かつ健康的な生活環境の提供	・フィリピン国内での市民向けゴミ分別教育の推進 ・フィリピン島々における埋立から処理への移行	・フィリピン国内におけるWeste to Energyの導入	  		
		自然保護・環境負荷低減	・中国内蒙古自治区の砂漠地域への植林事業への参画(総合計6,675本) ・工場棟電力分の非化石証明書の購入	・中国内蒙古自治区の砂漠地域への植林事業への参画(総合計12,195本) ・太陽光発電の導入による工場棟電力分を自家発電			
社会		適正な廃棄物処理	・定期的な品質管理と設備点検の実施 ・横浜市等での地産地消型廃プラスチックリサイクル(GXパーク)の計画開始 ・フィリピン国内での学校カリキュラムへの廃棄物処理の導入	・定期的な品質管理と設備点検の実施 ・地産地消型廃プラスチックリサイクル(GXパーク)の全国展開 ・フィリピン全土での学校カリキュラムへの廃棄物処理の導入	   		
		先駆的な新しい技術と価値の創造	・横浜市内における廃プラスチックの再利用によるサーキュラーエコノミーの実現 ・自治体等への廃棄物処理設備の提案 ・フィリピンでの食品残渣処理及び廃食油処理技術の導入による埋立量の劇的削減	・全国における地産地消型廃プラスチックの再利用によるサーキュラーエコノミーの実現 ・フィリピン国内におけるWeste to Energy導入による埋立処分場の大変革	   		
		ダイバシティとインクルージョンの推進	・人種、国籍、年齢、性別にかかわらず、すべての社員に均等な機会の付与 ・働き方のダイバシティの推進 ・えるぼし及びくるみん認定の取得 ・女性管理職の登用15%	・人種、国籍、年齢、性別にかかわらず多様性のある人材を積極的に採用し、組織としての競争力の向上 ・プラチナえるぼし及びプラチナくるみん認定の取得 ・女性管理職の登用30%	   		
統治		コンプライアンス・ガバナンスの強化	・コーポレートガバナンス体制の構築 ・各種法令・規範遵守と規程類の整備 ・コンプライアンス研修の実施 ・アンコンシャスバイアス研修の実施	・各種法令・規範を遵守し、強固なコーポレートガバナンス体制を構築し、社会から信頼獲得と企業価値の向上を実現			

外部機関による認証・評価等

2024年CDPSME気候変動においてスコアB-を取得

国際的な環境調査と情報開示を行う国際NGOのCDPが健全で豊かな経済を保つことを目的に、企業や自治体に対して環境に対する情報開示を促すもので、2024年においてSME気候変動においてB-評価を取得しました。



2022年にSBTi認証を取得

「産業革命後の気象上昇を2℃以内とし、1.5℃以内に抑えることを目指す」というパリ協定の目標に、弊社では2020年を基準年として、2030年までにCO2排出量を42%削減することを目標として認証を受けました。



2000年にISO14001認証を取得

1996年にEMSの国際規格として発行されたISO14001について、「廃プラスチック(破碎・溶融)・建設系廃棄物(破碎)の中間処理」を登録範囲として2000年に認証を受けました。



2023年にISO45001へ登録

労働安全衛生におけるリスクを除去又は最小化するためのマネジメントシステム規格であるISO45001について「廃プラスチック(破碎・溶融)・建設系廃棄物(破碎)の中間処理」を登録範囲として2023年に登録しました。



2023年に「横浜グランドスラム企業」として表彰

横浜市が実施する4つの認定・認証制度(横浜型地域貢献企業/よこはまグッドバランス企業/横浜健康経営認証/横浜市SDGs認証“Y-SDGs”)を全て取得し、働きやすい職場づくり等社会のニーズにこたえ、地域に貢献しながら経営に取り組んでいます。



2025年に「健康経営優良法人2025」の認定

従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、健康の保持・増進につながる取組を閃絡的に実践する企業に対し、表彰するもので、2025年3月に認定されました。

